

第3回地域社会学会賞

地域社会学会賞選考委員会

地域社会学会賞選考委員会は2009年度学会賞等選考を次の通り決定した。

2009年度受賞の刊行物は以下のとおりである。

1) 「学会賞」

(1) 個人著書の部門は、

吉原直樹 2008『モビリティと場所—21世紀都市空間の転回』東京大学出版会

(2) 共同研究の部門は、

浅野慎一・岩崎信彦・西村雄郎編 2008『京阪神都市圏の重層的なりたち—ユニバーサル・ナショナル・ローカル』昭和堂

2) 「奨励賞」

(1) 個人著書の部門は、

西城戸誠 2008『抗いの条件—社会運動の文化的アプローチ』人文書院

(2) 論文の部門は、

湯浅俊郎「環境リスクを争点とした住民運動の成立条件について—滋賀県（旧）志賀町における南部広域処理システム施設の建設計画問題を事例として」（『社会学評論』233号、2008年6月）

森久 聡「地域政治における空間の刷新と存続—福山市・鞆の浦『鞆港保存問題』に関する空間と政治のモノグラフ—」（『社会学評論』234号、2008年9月）

3) 「選考委員会特別賞」※

大野晃著 2008『限界集落と地域再生』高知新聞社

※学会賞の各賞の選考の過程で、各賞には適合しないが、とくにその社会的貢献の大きさから「選考委員会特別賞」を与えるべき刊行物があったのでそれを選定し、理事会の承認を受けた。なお、「選考委員会特別賞」は定期的に出すものではなく特別の場合に授与し、そのつど理事会の承認を受けることを委員会の内規とした。